

企画展 近代日本のメディアにみる

怪異

妖怪、幽霊、超常現象などのいわゆる「怪異」について明治時代以降の新聞がどのように伝えてきたのか、所蔵資料で紹介します。

古来より人々は、流行病、地震など凶事において、不安や恐怖に妖怪・鬼などの姿を与え、信仰の対象としてきました。怪談が歌舞伎や落語の題材になるなど、娯楽としての怪異も存在します。人々の「不思議なもの」への関心は、科学が発達しても消えることはありませんでした。

各時代の出来事や社会的背景により姿を変え、存在し続けている怪異。歴史の記録者である新聞は、日々のニュースとともに各時代の怪異の姿も伝えていました。困難な時代を信仰やユーモアで乗り越えようとした、当時の人々の思いに触れていただければ幸いです。

2022年
4月23日(土)
▶ 9月4日(日)

第1部

社会の混乱と怪異、疫病・災害・戦争

第2部【前期：6/26(日)】

近代化・大衆化する社会と怪異

第2部【後期：6/28(火)】

明治の新聞と妖怪・幽霊

※本展示は2部構成。第2部は前後期で展示を入れ替えます。

入館料
一般 400円
大学生 300円
高校生 200円
中学生以下 無料

※沖繩復帰50年と1972(昭和47)「近代日本のメディアにみる怪異の両方を」買いたたけます。

大阪日々新聞紙 二代貞信 明治時代(後期展示)

会場 ニュースパーク(日本新聞博物館)2階企画展示室
主催 ニュースパーク(日本新聞博物館)

ニュースパーク
日本新聞博物館

〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター
TEL:045-661-2040 FAX:045-661-2029
<https://newspark.jp>

開館時間 午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)

【交通アクセス】

みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口(情文センター口)直結
JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」徒歩1分
車で首都高速「横浜公園出口」から約3分